| 学校番号 | 3016 |
|---|---|

令和５年度　公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 現代社会 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高等学校　改訂版　新現代社会」　（第一出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書に準拠したワークシートによって授業を行う。図版やグラフなどの活用による視覚面での学習や、メディア通して収集した資料の活用による現実の動きと関連した学習を行う。
・政治・経済・倫理、日本史や世界史の学習内容と関連させる。
・国際社会の中で、平和と民主主義を守る主権者としての資質を養う。

2　学習の到達目標

・現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。
・現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。
・自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 現代社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なより良い社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。 | 現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 | 現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 | 現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身につけている。 |
| 評価方法 | ワークシート<br>発問評価 | ワークシート<br>定期考査<br>発問評価 | ワークシート<br>定期考査 | 定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 | 第1部　わたしたちの生きる社会 | ・地球環境問題<br>・資源・エネルギー問題<br>・生命科学と情報技術の課題 | ○<br>○ | <br><br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:地球温暖化や資源エネルギー問題に関心が高まり、自己と関連させながら考えようとしている。<br>b:科学技術の発達に伴う生命の考え方の変化や、科学技術と生命の在り方について考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:諸問題に関する資料を収集し、情報を主体的に選択して活用している。<br>d:環境問題、資源エネルギー問題、生命科学の諸課題を理解しその知識を身に付けている。 | 授業態度<br>発問評価<br>提出課題 |
| | 第2部　現代の社会と人間 | 1　青年期の自己形成<br>・自分らしく生きる<br>・人間としてよく生きる<br><br>2　現代の民主政治と日本国憲法<br>・現代国家と民主政治<br>(1) 民主政治の成立<br>(2) 民主政治の基本原理<br>(3) 民主政治のしくみと課題 | <br>○<br>○<br><br><br><br>○<br>○ | <br><br>○<br><br><br><br><br><br> | <br>○<br><br><br><br><br><br><br> | <br>○<br>○<br><br><br><br>○<br>○<br>○ | a:青年期の意義と自己形成の課題について考察し、近代政治の歩みとその基本原理を意欲的に追究しようとしている。<br>b:学ぶことの意義について自らとかかわらせながら考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:青年としての生き方に関する資料を収集し、情報を主体的に選択して活用している。<br>d:青年期の意義、学ぶことの意義、近代民主政治の形成過程と基本原理などについて理解し、知識を身に付けている。 | 授業態度<br>発問評価<br>提出課題<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | | ・日本国憲法の基本的性格<br>（1）日本国憲法の制定<br>（2）基本的性格<br>（3）基本的人権<br>（4）平和主義と防衛問題 | <br><br>○<br>○<br>○ | <br>○<br><br><br> | <br>○<br><br><br>○ | <br>○<br>○<br>○<br>○ | a：現代の民主政治への関心を高め、その基本原理を意欲的に追究し考えようとしている。<br>b：民主社会で求められる価値や民主政治を基礎づける考え方について考察し、様々な立場や考え方を踏まえ公正に判断している。またその過程や結果を適切に表現している。<br>c：日本国憲法及び民主政治に関する資料を収集し、情報を主体的に選択して活用している。<br>d：基本的人権の保障と法の支配、平和主義など日本国憲法の基本原則について理解し、その知識を身に付けている。 | 授業態度<br>発問評価<br>提出課題 |
| | | 3　現代の経済社会と国民生活<br>・経済主体と経済活動の意義<br>・経済社会の変容<br>・市場のしくみ<br>・市場の失敗<br>・現代の企業 | <br>○<br>○<br><br><br> | <br><br>○<br><br>○<br>○ | <br><br><br><br>○<br>○ | <br>○<br><br><br><br>○ | a：現代の経済社会に対する関心を高め、経済活動の在り方について意欲的に追究し考えようとしている。<br>b：現代の経済社会における諸課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c：現代の経済社会に関する資料を収集し、情報を主体的に選択して活用している。<br>d：現代の経済社会における企業の働き、公的部門の役割などを理解し、その知識を身に付けている。 | 授業態度<br>発問評価<br>提出課題<br>定期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | | ・日本経済の課題<br>・消費者問題<br>・労働問題と労働者の権利 | ○ | <br>○<br>○ | <br>○ | ○<br>○<br>○ | a:現代の経済社会における諸事情に対する関心を高め、意欲的に追究し考えようとしている。<br>b:現代の経済活動の在り方について、消費者、生産者など様々な立場、考え方を踏まえ考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:現代の経済社会における個人や企業の社会的責任などについて資料を収集し、情報を主体的に選択して活用している。<br>d:現代の経済社会における諸課題を理解し、その知識を身に付けている。 | 授業態度<br>発問評価<br>提出課題<br>定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。